

OvidSP 3.5 Release Note

2012年1月19日(米国東部標準時間)、OvidSPは、3.42から3.50にバージョンアップいたしました。主な変更と機能強化をご案内いたします。なお、この度のバージョンアップは、お客様からのフィードバックを反映したものになっています。今年末までにOvidSP 4.0のリリースを予定しています。

Select Resource(s) to search「検索対象の情報源の選択」

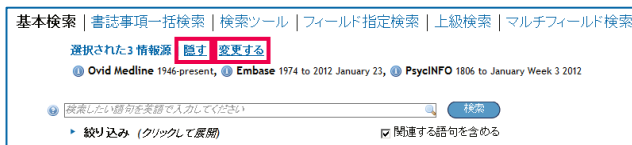


Select Resources(s) to search「検索対象の情報源の選択」の画面が大きくなりました。

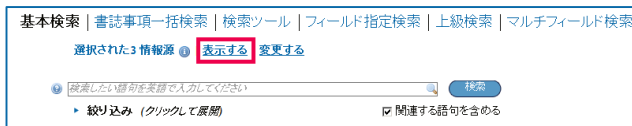
グレイ部分を無くし、フルスクリーン表示をご希望の場合は、Ovid日本事務所まで、ご連絡ください。

Search「検索」

◆ 選択された情報源の変更



情報源を変更するアイコン **Change「変更する」**が追加されました。現在、選択している情報源を **Hide「隠す」**や **Show「表示する」**で切り替えることができるようになりました。



Show「表示する」をクリックすると、選択している情報源が表示されます。

◆ 入力ボックス



入力ボックスに「**ヒント**」がグレイ表示されるようになりました。

◆ Limits「絞り込み」



直前以外の検索集合の絞り込みを行うためには、Additional Limits「絞り込み条件 - 詳細」をクリックしなければなりませんでした。今は、**Search History「検索履歴」**で絞り込む検索集合を選択できるようになりました。

絞り込み項目の「**Full Text**」を非表示にすることができるようになりました。

※「Full Text」の絞り込みを正しく行わせるためには、購読している有料および無料の電子ジャーナルを OvidSP 内に登録・更新する必要があります。

■ 出力: Print「プリント」、Email「電子メール」、Export「エクスポート」

◆ 出力アイコン

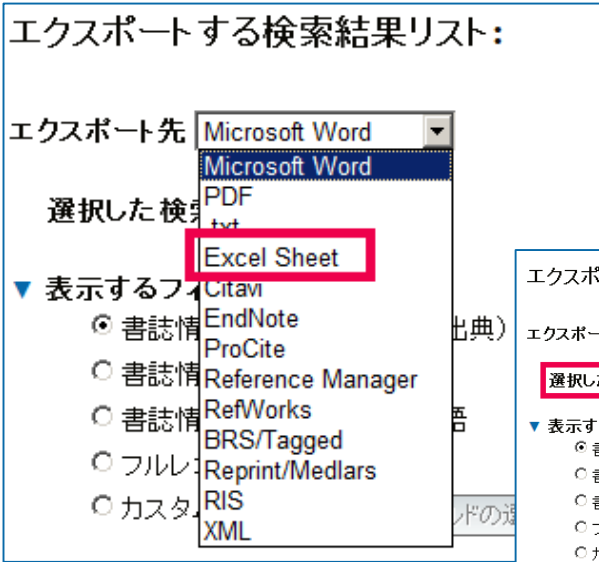


出力アイコンが画面の下にも表示されるようになり、スクロールする必要がなくなりました。

◆ プリントのフォントサイズ

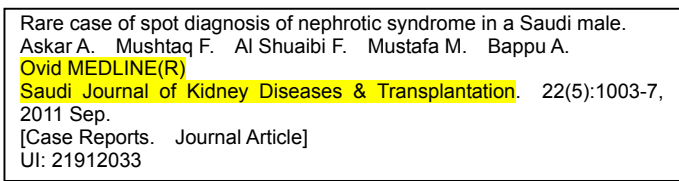
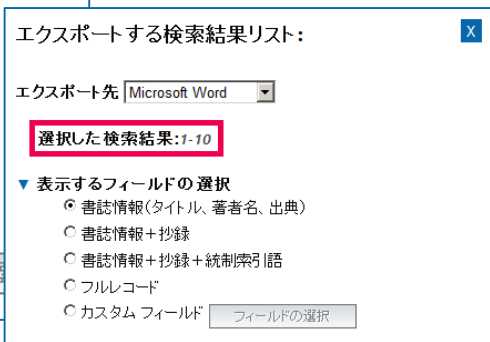
プリントのフォントのサイズが大きくなりました。「Print Preview」では、気づかないと思いますが、実際にプリントすると大きくなっています。

◆ Export「エクスポート」



Export to「エクスポート先」に「Excel Sheet」が追加されました。

出力するレコードを選択しないと、「エラーメッセージ」が表示されましたが、今は自動的に1ページに表示する件数(通常 10 件)を出力するようになりました。



マルチファイル検索を行い、「Ovid Citation」スタイルで Word にエクスポートした場合、データベース名が一行に分けて表示されるようになりました。

EndNote にエクスポートした場合、Export ウィンドウを自動的に閉じるようになりました。
Refworks に Annotate「注釈」もエクスポートすることができるようになりました。
※Annotate「注釈」を利用するには、My Account「マイ アカウント」にログインする必要があります。

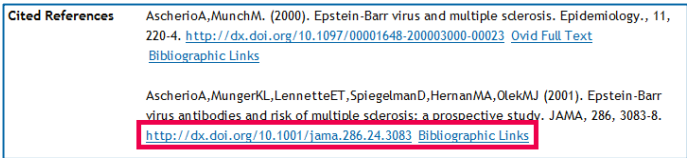
■ その他

◆ Journals@Ovid



ブレッドクラム(閲覧履歴)が大きく表示されるようになりました。

◆ PsycINFO



PsycINFO の Cited Reference(引用文献)の関連リンクが複数あっても、改行せずに表示されるようになりました。

◆ iPad

OvidSP は、まだモバイル対応していませんが、iPad でのみ利用可能です。ただし、PDF の保存など Ovid SP のすべての機能を使うことはできませんので、ご注意ください。